

## 「西宮市教育大綱」所管事務報告 概要

**日 時** 平成 28 年 3 月 9 日（火）13 時 00 分～15 時 44 分（途中休憩あり）

**場 所** 市議会 4 号委員会室

**出席者** 議員側

（総務常任委員会）よつや委員長、吉井副委員長、大石委員、菅野委員、岸委員、杉山委員、西田委員、町田委員、

（教育こども常任委員会）大原委員、野口委員、一色委員、岩下委員、坂上委員、澁谷委員、竹尾委員、わたなべ委員 <計 16 名>

当局側

田原政策局長、伊藤教育長、山本教育次長、前川教育次長ほか <計 15 名>

【説明：堂村 行政戦略課長】

【主な意見等】

ヒアリングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇宗教関係者をヒアリング対象に入れた根拠は何か。</li> <li>◇子供自身からヒアリングをする機会を持つべき。</li> </ul>
大綱内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇文化・歴史など西宮の特徴、高度経済成長期に自然環境を守った市民意識の高さ、阪神・淡路大震災のさなかでも秩序を保った市民意識の高さなど、先人から受け継いできたことも盛り込むべき。</li> <li>◇教育は、外部の力によって左右されない普遍的なものであるということ踏まえるべき。</li> <li>◇基本理念とは一般的には行動を押し付けるものだが、押し付け的なものではなく、西宮市が子供、大人に対してどういうことをしてあげられるのかを考えていくべき。</li> <li>◇現行の教育方針等に支障が及ぶことのない大綱にされたい。</li> <li>◇教育に係る具体的な問題は他にもたくさんあるはずなので、有識者等に意見を聞き、実務的なことにもっと力を入れていくべき。</li> <li>◇緊急の課題もあれば 100 年先の課題もある。長期的な課題も大綱に盛り込むべきではないか。</li> <li>◇学校現場を支援するような記載も必要。</li> <li>◇いじめなどで子供達がつらい思いをすることのない、そんな大綱となるようお願いする。</li> <li>◇分かりやすく、包括的な内容にすべき。</li> <li>◇関西学院高等部には「いじめ防止基本方針」があり、市もこのような方向性を出してほしい。</li> </ul>

報告資料7P「検討結果のまとめ」について	<p>◇課題の原因を細かく分析できていないように思う。</p> <p>◇左側に記されている「現象（子供にみられがちな課題）」の真逆の人間は果たして良い子供なのか。</p> <p>◇いじめの問題が挙がっていないが、入れるべきだ。</p> <p>◇地域に貢献・奉仕する心を育ててほしいので、項目を入れていただきたい。</p> <p>◇「現象（子供にみられがちな課題）」として色々挙がっているが、これらは昔から子供が言われてきていることで、今に限ったことではない。</p>
策定姿勢、大綱の完成、周知・利用等について	<p>◇子供を取り巻く環境は昔と変わっている。子供の育つ環境をもっと整備するよう要望する。</p> <p>◇国の根幹となっている教育が今の社会をつくっている、ということ念頭において、きちんと取り組まれない。</p> <p>◇総合教育会議では「理念が子供達を縛るものにはしたくない」という話があったが、大綱が策定されれば、既存の理念にさらにかぶさることになる。</p> <p>◇理念を作ることは賛成。理念とは、皆を包括して良い方向に持っていくものだと思えるが、大人たちが真剣に考えた結果、今の取りまとめ内容であれば、あまり期待できない。</p> <p>◇これから2年間程かけてじっくりと大綱を作ってみてはどうか。</p> <p>◇完成した大綱を学校現場にどうやって落とし込んでいくのか。</p>
事務局について	<p>◇総合教育会議では「西宮の教育の歴史を再検証し、参考にすべき」との意見があったが、現状はヒアリング重視のままではないか。</p> <p>◇教育委員会と政策局が事務局として十分に連携できていないとの指摘がある。</p>